

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	評価責任者 (基本施策主管課長)	介護高齢福祉課長 清水 健司
-------	---	-------------------	---------------------	-------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標 安心・安全	政 策 必要なときに支えがある安心なまちづくり
① 市民意識調査結果		②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果  長引く不況の中で、現在の生活環境に不安を感じ、将来が心配であるが故に、地域における支え合い体制に力を入れてほしいと回答した市民が95%近く存在する。
③ 基本施策の現状と課題	低所得者層は、高齢者に限ったものではないが、年金のみで生活しているのは高齢者に限られる。また、医療保険や介護保険料が年金から天引きされ、負担は増大しており、介護状態になれば、さらに負担が大きくなる。	
④ 基本施策の意図、今後の展望	高齢者の生活を支える生産年齢人口が減少し、負担増が求められているなかで、年金生活の高齢者の収入は十分とはいえない。こうした背景のもとでは、在宅介護世帯の負担を緩和する助成制度の充実が必要である。	

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
医療保険		国民健康保険取納率		2
在宅介護世帯		寝たきりの高齢者		1

  

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度 目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27		
2 国民健康保険減年度分取納率	目標	%	93	94	93	93	93	県国保広域化等支援計画に盛り込む目標集約率をベンチマークとする
	実績	%	91.5	93.2				
	達成率	%	98.4	99.1				
1 寝たきり高齢者福祉手当受給者数	目標	人	215	220	235	240	240	
	実績	人	211	230				
	達成率	%	98.1	104.5				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額		
1	健康福祉部 介護高齢福祉課	252	寝たきり高齢者等福祉手当支給事業	有	9,318	8,532	10,080	1
2	健康福祉部 介護高齢福祉課	253	外国人高齢者福祉給付金支給事業	無	1,800	1,800	1,680	3
3	健康福祉部 保険年金課	305	医療費助成事業(単独分)	無	11,085	11,044	11,060	2
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					22,203	21,376	22,820	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	国保取納率については、取納率向上対策の取り組みにより、概ね達成できている。一方、高齢者福祉手当受給者数は、地域で支えが必要な数である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	不安な生活を支援するための事業であり、介護等の費用の軽減を実施し、在宅介護に携わることができる。
3 役割分担の妥当性	在宅で介護を受ける場合の経済的負担を緩和し、一定の生活を保つためにも必要な助成制度である。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	寝たきり高齢者等福祉手当支給事業については、一定の所得制限が必要である。